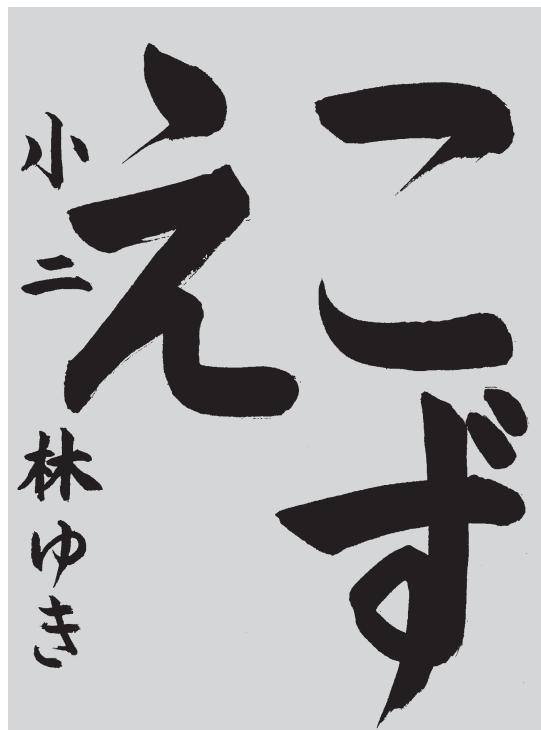


〔2月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

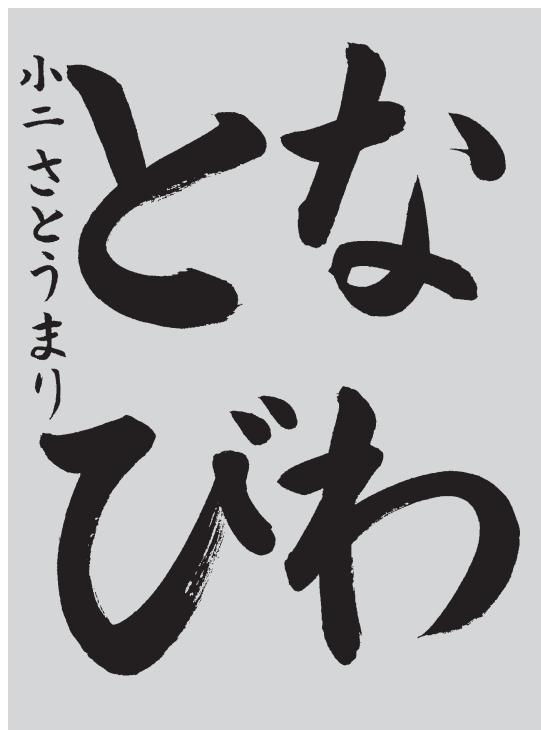


加藤 眺溪 先生

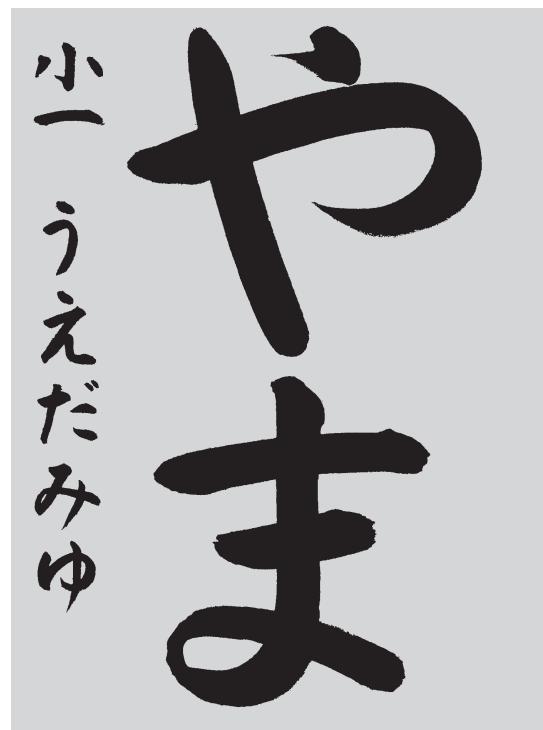
幼・小学1年参考手本



一谷 春窓 先生



大平 邑峰 先生



半田 藤扇 先生

〔2月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学4年参考手本



小林 琴水 先生

小学3年参考手本



小浜 大明 先生



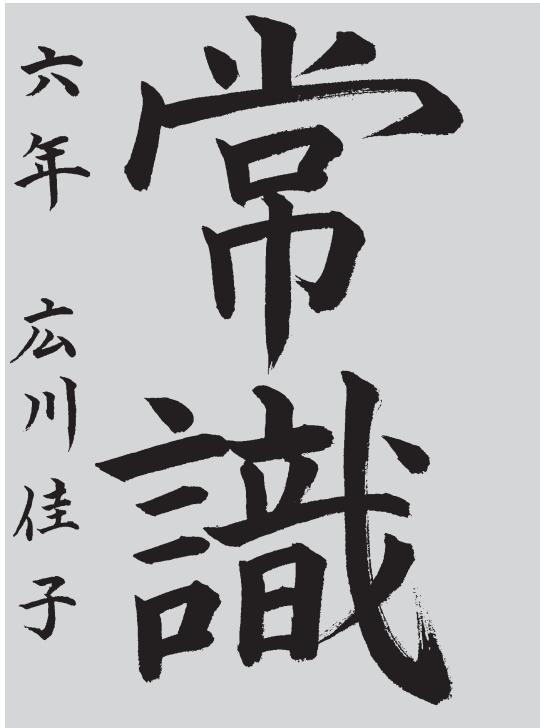
小竹 石雲 先生



島田 白露 先生

〔2月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学6年参考手本



橋本玉扇先生

小学5年参考手本



名越蒼竹先生



辻元大雲先生



種谷萬城先生

〔2月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

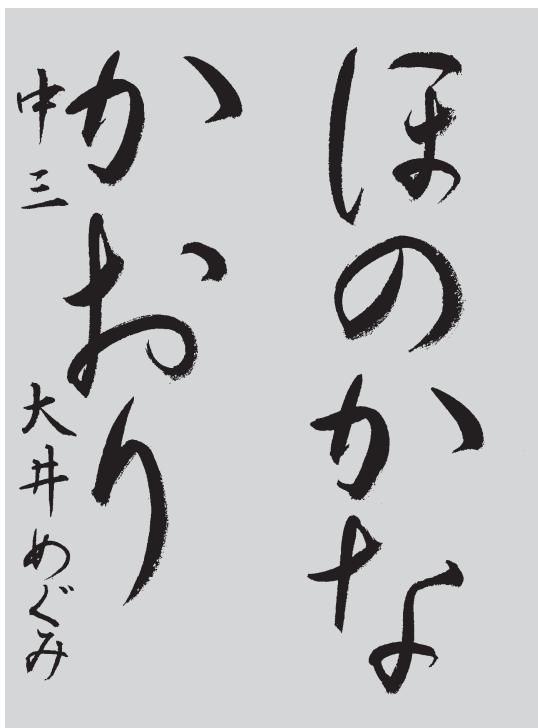
中学全学年参考手本（中学生は、楷書又は行書などの課題を書いてもかまいません。）



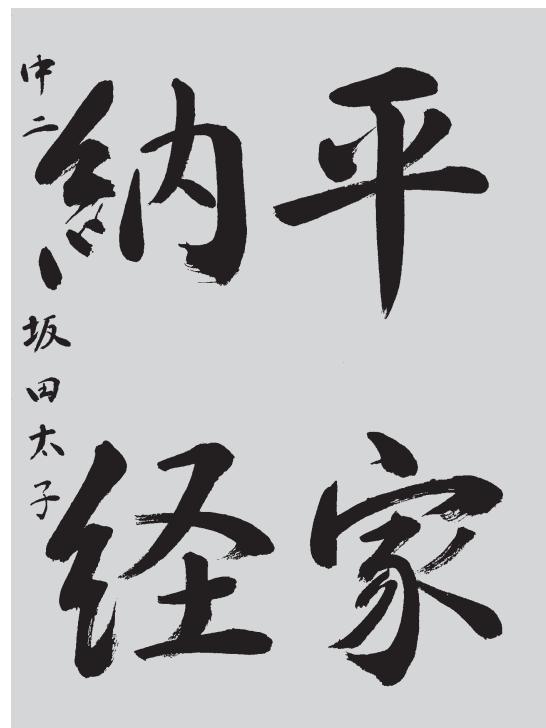
小 伏 小 扇 先 生



川 島 舟 錦 先 生



下 谷 洋 子 先 生



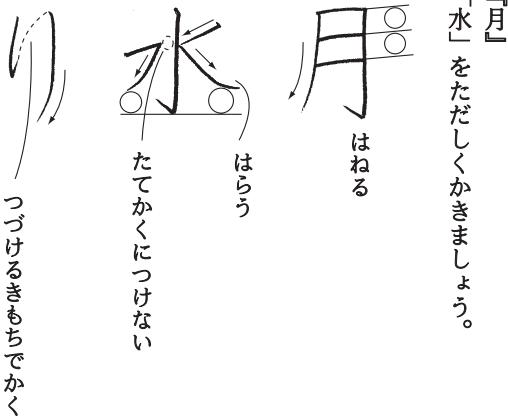
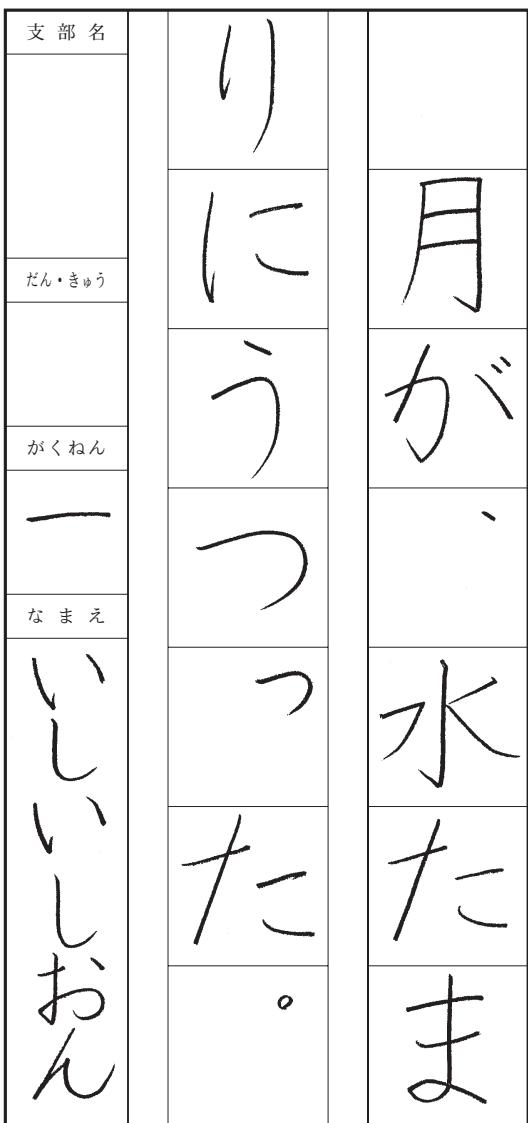
大 野 祥 雲 先 生

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

(2月9日締切課題)

幼・小学1年



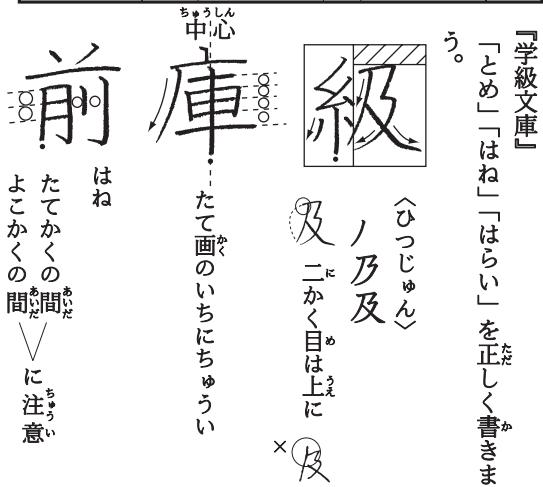
- ◎各学年に「学習のめあて」をつけました。
「なにをれんしゅうするか」をはつきりして一生けんめい書きましょう。
- ◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用してよろしい。
- ◎学年は漢数字(1, 2, 3, …), 級は算用数字(10, 9, 8, …), 段は漢数字(1, 3, 四)と記入。
- ◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。
- ◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。
- ◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。
- ◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

〔2月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

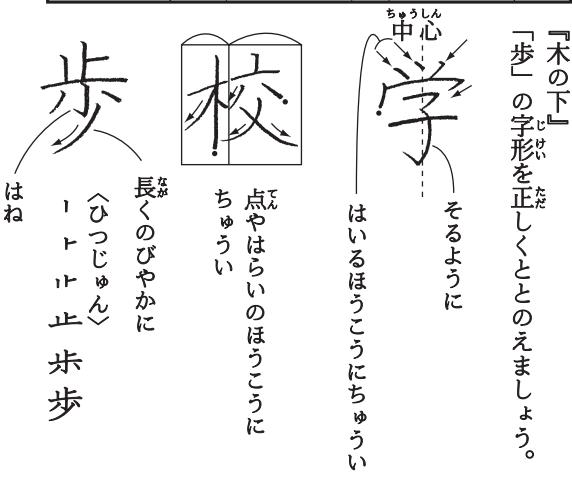
小学三年

小学 2 年

支 部 名			
段 · 級			
学 年			
三			
名 前			
次 田 知 世			



支 部 名		
段 · 級		
学 年		
二		
名 前		
羽 方 春 矢		
	歩	学
	き	校
	ま	中
	わ	の
	つ	木
	た	の
	。	下
		を



『木の下』
「歩」の字形を正しくととのえましょう。

〔2月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学5年

小学4年

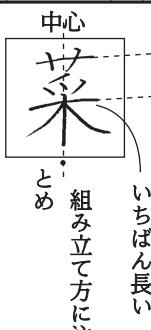
支部名	て い る こ と が 大 切 で す。	者 全 員 が 目 的 を 理 解 し	話 し 合 い て は 、 参 加
段・級			
学年	五		
名前	山口 悠斗		

支部名	多 い の に 気 づ い た 。	菜 の お か ず を 残 す 人 が	給 食 当 番 の と き 、 野
段・級			
学年	四		
名前	木原 大地		



『話し合い』
一字のつりあいよく、字形を整えましょう。
方向を変え、しだいに長く

— 6 —



いちばん長い
組み立て方に注意



『給食当番』
一字のつりあいに注意して字形を整えましょう。

〔2月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中 学 生（楷書又は行書）

小 学 6 年

支部名	私は沖縄へ行きました。				
段・級	季節や時間の流れとともに変わるもの				
学年	わる海の表情が大好きです。				
中三					
名前	山形 晴香				

表情

季節 時間

〈簡単な行書〉

海の表情が大好き

漢字を整えて字配りよく書きましょう。
『沖縄』

— 7 —

支部名	委員会のことば				
段・級	児童会の役員に聞きました				
学年	児童会の役員に聞きました				
六	児童会の役員に聞きました				
名前	児童会の役員に聞きました				
福岡 知里	児童会の役員に聞きました				

中心
童
長く
立
十
里

児

ル（ひとあし）の始筆をつけない

委
女

女（おんなへん）の筆順
く女女

『児童会』
文字の外形を見て、形を整えましょう。

筆順を学ぼう



3年	図	ズト はか・る	口 円 冂 冂 冂
	発	ハツ ホツ	フ フ ハ ハ ハ
4年	表	ヒヨウ おもて あらわ・す あらわ・れる	一 十 土 扌 表
	約	ヤク	糸 糸 糸 約 約
5年	束	ソク たば	一 ノ 口 申 束 束
	常	ジョウ つね とこ	ノ ノ 几 呂 常
	識	シキ	言 許 譜 識 識
6年	遺	イ ユイ	口 中 虫 曽 貴 遺
	産	サン う・む う・まれる うぶ	立 产 产 产 产
	觀	カン	ニ ケ ナ ナ 雀 觀
中学	測	ソク はか・る	氵 泪 泪 測 測
	納	ノウ ナ ナ トウ ト おさ・める おさ・まる	糸 糸 納 納 納

行書を学ぼう (210)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」



ひらがなのは源 (210)

* 源字については、異字体から変遷したものに *印を付して()にその字体を記した。
* 字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

り	お	か	な	か	の	ほ	源字	字形
利ありり	於おおお	加かかか	奈ゑゑゑ	加かかか	乃ゑゑゑ	保ぼぼぼ		

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

平成

年 月 日

◇登録用紙◇

団体番号		支部名		先生名
------	--	-----	--	-----

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月20日までに登録された方は次月から出品可能です。

※退会の処理は年2回の昇級試験時に行います。

※登録申請時の学年を明記ください。



氏名	ふりがな	学年			備考
		幼	小	中	

◇部数変更届◇

現在	月号から	増減	合計
冊			冊
事務局使用欄			

○冬休みからお正月は全国各地で書き初めの季節です。書き初めは四条天皇（1240年）頃から始めたものと考えられています。約800年も昔のことです。新年1月2日の若水を汲んで、お正月の喜びに浸り、静かに墨をつけて、お祝いの言葉、教訓を書き、神棚に供えて新らしい気持ちで神に対して一年の願望を示し、崇高い伝統を持ち続けてきました。地方によつては小正月（1月15日）に書いたものを燃やし、炎とともに天高く舞い上がる様子を見て、書の上達、心の躍進を祈願したと伝えられています。書の皆さんはお正月、じっくりこの一年を思い描きながら書き初めに浸るのも良い事でしょう。

○毎年この時期、近隣小学校からの依頼で書き初め講習会に伺います。一つ一つの講習会で書く事が好きになり書道に関心を持つてもらえた喜んでいます。小学生からの底辺の拡大は私達の大切な責務と感じています。

○先日、書道関係でお世話になつた友人のお嬢さんとの結婚式に出席しました。その友人は、4年前に他界され、娘さんの小さい時からの写真に何度も登場し、きっと今日の良き日を心から喜んでいるだらうと思うと涙が出来ました。木長

(郵便)

漢字に親しもう

(59)

2月号中学生の毛筆課題「観測」から「測」の字にスポットを当てて、

「測」の成り立ちから「はかる」の使い方の区別まで深く学んでみましょう。

測

おん
くん
はかる
水 (みず) → シ (さんすい)
部首
画数 12



測

測

測

測

測

測

川 (＝水) と、則 (＝食器のそばにナイフをくっつけておいたようす) を組み合わせた字。ものさしをそばにおいて、水の深さをはかることを表す。

「はかる」「予想する」などの意味に使う。

いみ・じゅく

- ① 広さ、長さ、高さ、大きさなどをはかる。 —
- 测定・測量・測候所・目測・観測
- ② おしはかる。 — 予測・推測・憶測

つかいかた

- 土地の広さを測量する。
- 月の様子を望遠鏡で観測する。
- 湖の水の深さを測る。
- 目測を誤って飛びこえられなかった。
- 未来のできごとを予測する。

「はかる」のへべつ

【計】 まとめて数えたり、考えた

○ 時計で時間を見る。

○ 新しい高校の創立を計る。

○ 計り知れないほどのか労。

【量】 重さ、大きさを明らかにする。

たぶんこうだらうと考える。

○ 体重計で毎月の体重を量る。

○ 相手の心中を量り、行動をする。

【測】 長さなどを明らかにする。

○ 身長を測る。

○ 運動場の面積を測る。

○ 教室の温度を測つて記録する。

【図】 何かを行おうとしていろいろ考える。

○ 食糧問題の解決を図る。

○ 清掃作業の合理化を図る。

第68回 書道芸術院展

— 併催 第66回 全国学生書道展 —

2015年2月17(火)~21(土) 9:30~17:30 (入場は30分前まで)
(21日は14時閉館)

上野公園 東京都美術館

一般公募・無鑑査	2014年12月19日
作品・書類受付	
審・審候付	2015年1月29日
書類受付	
作品搬入	2015年2月8日

主催 公益財團法人 書道芸術院
後援 文化庁・毎日新聞社